

新型コロナウイルスの問題が叫ばれるようになってから既に数か月が経つ中、現在におきましても収束の糸口すら見いだすことができておりません。むしろ、東京オリンピックの延期をはじめ、日本のみならず海外におきましても混乱が拡大する様相を呈しています。

このような新型コロナウイルスによる混乱を受けて、Squire Patton Boggsの海外オフィスの弁護士が、新型コロナウイルスに関連する法的問題及び対応方法をテーマに本記事を作成致しましたので、下記にあるURLをご参照ください。この英文記事につきまして、東京オフィスの弁護士による日本語要約も併せて作成しておりますので、新型コロナウイルス問題への対応をご検討頂く際にご参照頂ければと存じます。また、新型コロナウイルス問題に関するご相談、本記事の内容についてご不明点、ご質問がございましたら、東京オフィスの担当弁護士までご連絡頂ければ幸いです。こちらの記事及び要約を通じまして、少しでもクライアントの皆様のお役に立つべく、こちらからも情報発信をさせていただき所存でございますのでお気軽にご相談ください。

スクワイヤ外国法共同事業法律事務所

UK Tax – Measures and Waits

英国の税一対策が講じられている事項と留保されている事項

英国（2020年3月30日）

英国政府は、企業の資金調達および資金の流動性についてこれまで主に焦点を当ててきました。しかしながら、これまでのところ、純粋な税負担の軽減や緩和についての措置はほとんど講じられてきていません。新型コロナウイルスの感染が拡大するにつれて、税金に関連する事項についても今後変更があるものと考えられます。

現時点における税金に関する措置には以下のものがあります。

- 英国付加価値税（VAT）の納税期限の延期
- 申告所得税の納税期限の延期
- 新型コロナウイルス雇用維持スキーム (Coronavirus Job Retention Scheme (CJRS))
- “Time to Pay”（TTP） – “Time to Pay”という制度は、あらゆるビジネス活動に関する税金の支払いについて、納税期限を延長したり、分割納税を認めたりするものです。事業主とHMRC（英国の歳入税関庁）との間で合意され、当該事業にある程度の余裕をもたらし、キャッシュフローが改善できるようにする仕組みです。
- 納税者の居住確認
- 印紙税
- 非法定クリアランス（事前ルーリング制度）
- 年金制度

これらの詳細と今後追加されることが予想される税金に関する措置については本記事をご覧ください。

<https://www.squirepattonboggs.com/-/media/files/insights/publications/2020/03/covid-19-uk-tax-measures-and-waits/covid-19-uk-tax-measures-and-waits.pdf>